

矢吹講談紅の会 会員募集のご案内

講談で知る江戸文化の愉しさ！

【矢吹講談】紅の会は、一昨年発起人会によって規約や役員を選出、事業計画・収支計画などが承認され、本格的に矢吹講談事業をスタート致しました。そして、日本講談協会会長の神田紅師匠を中心に一門のお弟子さんと共に美事な舞台演出で第一回開催を成功させて頂きました。

今回の第3回開催も大勢の矢吹町のみなさんに江戸文化講談を楽しんでいただきたく存じます。そして、今後も継続して参りますので、ぜひとも会員登録いただき、本会発展のご支援を心よりお願い申し上げます。

重ねて多くの皆さまのご加入をお待ちしております。

【矢吹講談】紅の会
会長 八重幡清忠

会員募集

「矢吹講談」を楽しみながら、この話芸を守り育てるサポーターになりませんか？

- 年会費 3,000円
- 会員特典 年1回の公演会への招待&その他 特典準備
- 申込提出先 矢吹講談紅の会事務局
(矢吹町役場 企画総務課TEL. 0248-42-2117)

賛助広告募集

広告出稿で「矢吹講談」をサポート、地元社会への貢献をお願いします！

- 広告料 1口：5,000円
- 特典 1口：パンフレットへの会社名掲載 小胸 (入場券2枚)
- 申込提出先 矢吹講談紅の会事務局
(矢吹町役場 企画総務課TEL. 0248-42-2117)
- その他 広告内容の校正は、後日FAXでご連絡いたします。

第3回 矢吹講談 紅の会



講談で知る
江戸文化の
愉しさ！

日時 令和元年10月6日(日)

(開場：午後4時30分 開演：午後5時00分)

場所 矢吹町文化センター 小ホール

入場料 2,000円(税込み) 定員 先着150名

※入場には事前のチケット購入が必要ですので、下記までお問合せ下さい。

お問い合わせ 矢吹町役場企画総務課 TEL. 0248-42-2117
矢吹町文化センター TEL. 0248-44-4000

ごあいさつ

矢吹町で講談会を年に一度開催していただくようになって今回が3回目となりました。応援して下さる方々のお顔も少しずつ分かるようになり、さらに矢吹町を身近に感じております。訪れる度に町は目を見張るような復興をとげ、これも行政をはじめ皆様方のやる気のたまものだと存じます。

今回も講談の迫力で、さらに矢吹町にエールを送りたいと一同張り切っております。皆様のお出でを、心よりお待ち申し上げます。

日本講談協会会長 神田 紅

令和元年の幕開けに、人々が美しく心を寄せ合い、一人ひとりのそれぞれが花を大きく咲かせようとの願いが込められた元号のようです。私たちも日本固有の心の文化を思い起し「相手を慮る」「空気を読む」そして「寛容さを示す」などを美德としてきた「日本人の心」を大切に伝えて参りましょう。

矢吹講談も江戸で花開いた「話芸文化」です。太平記など其の時代の心に響く伝記を謳い挙げる寄席芸です。ぜひ、ご家族、知人、友人をお誘い頂き、素晴らしい講談をたっぷり楽しんで頂ければ幸いです。

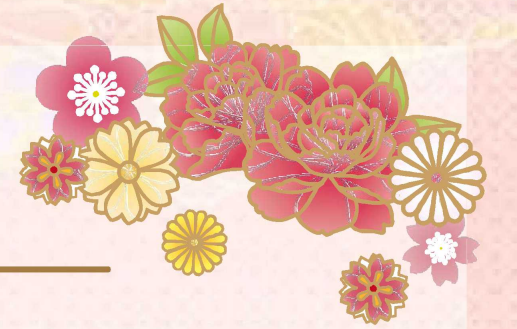
矢吹講談紅の会

会長 八重幡 清忠

演 目

講談やってみまショー

「義士討ち入り」より



べにか
紅佳

「越の海」

江戸の寛政年間、最も相撲が栄えた時代。数々の名力士が揃う中に突如現れた小さなお相撲さん。雲つくばかりの大男を相手に知恵と度胸で大暴れ。



しんく
真紅

「沖田総司」

幕末、白河藩士の長男として生まれた沖田総司は、近藤勇、土方歳三ら試衛館の仲間と共に將軍警護の為に京へと向かう。ところが思いがけぬ事態が起こり……。



くれない
紅

「南部坂雪の別れ」

端唄「笹や節」の3番に唄われる、赤穂義士伝より女たちの忠臣蔵として有名な物語。大石内蔵助が、浅野内匠頭の妻搖泉院に別れを告げに行くのだが……。